

活用効果評価結果

平成24年度

北海道開発局 新技術活用評価委員会

開発目標	経済性の向上、周辺環境への影響抑制、品質の向上		
新技術登録番号	CB-030036-V	区分	工法
分類	共通工 - 法面工 - 植生工 - 植生ネット工		
新技術名	ガンリョクマット工		
比較する従来技術 (従来工法)	植生基材吹付工		
新技術の概要及び特徴	※新技術の概要および特徴はNETIS情報を抜粋、要約したものである。 樹林導入型の厚層植生マット工である。 発芽生育特性の異なる種子を領域指定播種することにより、発芽生育速度の速い洋芝種子による被圧を防止し、早期樹林化が可能である。人工軽量土壌を充填しており、砂質土から軟岩まで適用可能。施工がマット張作業のみで完了するため、容易に施工ができ、工程や作業の簡略化、施工性や経済性の向上が図れる工法である。		
活用効果評価	所見	※所見は活用調査結果に基づくものである。 ・マット張り作業のみのため作業が簡略化され、工程短縮に貢献できる技術である。 ・吹付プラントを使用しない為、重機・機材関係の労働災害が減少し、安全性の向上に貢献できる技術である。 ・マットを敷設する施工であり熟練度に依存しないため、施工性の向上に貢献できる技術である。 ・工場製品であるため、基盤層の品質が安定しており、品質・出来形の向上に貢献できる技術である。 ・吹付機械を使用しないため騒音・振動が軽減できる技術である。	
	留意事項	※留意事項は活用調査結果に基づくものである。 ・施工時にマットを地面に密着させる必要があるため、アンカーピン等の打ち込みを確実にを行うことに留意する必要がある。	

活用効果調査結果	対象工事	1	別紙参照				項目の平均 (点)	従来技術 (従来工法) (点)
		2	別紙参照					
		3	別紙参照					
		4	別紙参照					
		5	別紙参照					
	項目	ケース番号及び年度	1	2	3	4	5	
		経済性	別紙参照					
		工程	別紙参照					
		品質・出来形	別紙参照					
		安全性	別紙参照					

項目の平均(点)と従来技術(従来工法)(点)の比較

経済性

環境

工程

品質・出来形

安全性

施工性

— 新技術  
— 従来技術 (従来工法)

活用効果評価	項目	評価結果	内容	補足
	成立性	技術として成立している	技術における機能、品質、性能などを試験や理論的なもの等での確認・証明の有無	技術として成立している 技術として成立していない
	優位性	従来技術より優れる	従来技術に対して優れている度合い	A 従来技術より極めて優れる B 従来技術より優れる C 従来技術と同等 D 従来技術より劣る
	安定性	高い安定性を有す	各評価項目の判定結果による総合評価	高い安定性を有す 安定性に問題がない 安定性が確認されない
	現場適用性	広い	技術の優位性が高いものの件数の多寡	広い 特に広いとまでいえない - (評価基準に満たない)
	区分	従来技術に比べて活用の効果は優れている。また、活用の条件の違いに対する評価の安定性を有し、多くの現場で良い評価を得ている。(設計比較対象技術)	-	-
	追跡調査の必要性	有(植生の良好な育成と維持)	-	-
	追跡調査			

活用効果評価結果（別紙）

平成24年度

北海道開発局 新技術活用評価委員会

活用効果 調査結果	ケース番号 及び年度	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
		H21	H21	H21	H21	H22															
	経済性	C	C	C	C	C															
	工程	B	B	B	B	B															
	品質・出来形	B	B	C	B	B															
	安全性	B	B	C	B	B															
	施工性	B	B	B	B	B															
	環境	B	B	B	B	B															
	その他	—	—	—	—	—															
	施工時評価点	B	B	B	B	B															
	追跡調査																				
	総合評価点	B	B	B	B	B															
		経済性	工程	品質・出来形	安全性	施工性	環境	その他	施工時 評価点	追跡調査	総合評価点										
	項目の平均	C	B	B	B	B	B	—	B	—	B										
	従来技術 (従来工法)	C	C	C	C	C	C	—	—	—	—										
対象工事	1	防雪施設工事 「北陸」 (従来技術) 植生基材吹付工 (t=5cm~7cm) H21																			
	2	導流堤工事 「九州」 (従来技術) 植生基材吹付工 (t=5cm~7cm) H21																			
	3	道路改良工事 「東北」 (従来技術) 植生基材吹付工 (t=3cm) H21																			
	4	防災工事 「九州」 (従来技術) 植生基材吹付工 (t=7cm) H21																			
	5	法面処理工事 「九州」 (従来技術) 植生基材吹付工 (t=5cm~7cm) H22																			
	6																				
	7																				
	8																				
	9																				
	10																				
	11																				
	12																				
	13																				
	14																				
	15																				